2016
事業報告書

［平成 28 年 6 月～平成 29 年 5 月］

特定非営利活動法人
地域の未来・志援センター

目　次

◆各事業実施報告.....2～
1. 情報の受発信・交流.....5
　　1-1　HP、ML、FB による情報受発信
　　1-2　情報交流会
2. コーディネート.....6
　　2-1　地域の多様なつながりづくり支援
　　2-2　温暖化対策啓発地域支援
3. コンサルティング.....7
　　3-1　相談業務
4. 団体・人財育成.....7
　　4-1　助成金セミナー
　　4-2　インターン生受入れ
　　4-3　NPO センタースタッフスキルアップ支援
5. 統一テーマでの活動.....11
　　5-1　テーマごとの学びの場づくり
6. 調査　.....11
　　6-1　NPO 訪問〈環境 NPO ヒアリング調査〉
7. 政策提言.....12
　　7-1　『日本版「首長誓約」による地域気候エネルギー政策確立支援事業』
8. 地域デザイン実証.....13
　　8-1『豊森プロジェクト』豊森なりわい塾

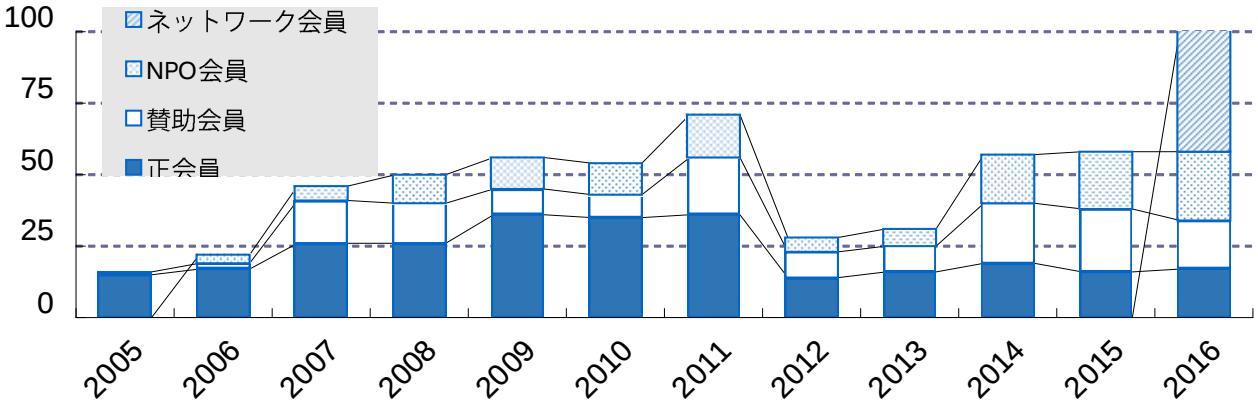
◆総会および理事会・運営会議の開催.....14
◆各事業の目標値と実績比較.....17

2016 年度（2016 年 6 月～2017 年 5 月）事業報告

1．2016 年度活動ダイジェスト

●会員の拡大

2016 年度は正会員 3 人、賛助会員 3 人、NPO パートナー会員 3 団体、ネットワーク会員 3 組織の入会があり、当法人が抱える会員数は、正会員 17 人、賛助会員 17 人、パートナー会員 24 団体、ネットワーク会員 3 組織 43 団体、計 34 人・67 団体となりました。



新規入会された個人・団体は次の通りです。（順不同、カッコ内は団体所在地）

＜正会員＞
・辻　久好（三重県いなべ市）
・鳥居　翼（愛知県名古屋市）
・坂本　恵里（愛知県名古屋市）

＜賛助会員＞
・江崎　忠男（岐阜県羽島市）
・清水　一守（岐阜県不破郡）
・石井　伸弘（岐阜県本巣郡）

＜NPO パートナー会員＞
・OV 森の自然学校（岐阜県高山市）
・特定非営利活動法人犬山市民活動支援センター（愛知県犬山市）
・NPO ソーラーネット（埼玉県小川町）

＜ネットワーク会員＞
・西濃環境 NPO ネットワーク（岐阜県揖斐郡）
・いび NPO 法人連絡協議会（岐阜県揖斐郡）
・渥美半島環境活動協議会（愛知県田原市）

●環境 NPO ヒアリング調査

2016 年度は次の 16 団体への NPO ヒアリング調査を実施しました。（累計 53 団体）

9 月までは、情報交流会 in 揖斐川流域の準備を兼ね、西濃環境ＮＰＯネットワークのメンバーを中心に訪問。年度の後半は、次年度情報交流会開催へ向け、三重県・北勢地域の団体を訪問し、その後のつながりづくりに繋げています。

	訪問日	訪問先	備考（その後の関わり）
1	2016/6/3	NPO 法人岐阜・楽しい家づくり研究会	
2	2016/6/6	NPO 法人まち創り	
3	2016/6/13	NPO 法人山菜の里いび	
4	2016/6/23	NPO 法人まちづくりネットワーク池田	
5	2016/7/4	NPO 法人泉京・垂井	
6	2016/7/21	NPO 法人里山会	
7	2016/8/11	NPO 法人しつもん力普及協会スマイル	
8	2016/8/11	NPO 法人Ｗａコミュニティ	
9	2016/8/22	NPO 法人森と IT	
10	2016/9/19	春日古（いにしえ）学び	
11	2016/9/19	NPO 法人ぎふいび生活楽校	
12	2016/9/20	奥三河蚕玉の森プロジェクト	
13	2016/12/5	山造り研究所	
14	2017/4/20	環境教育ネクストステップ研究会	
15	2017/4/27	東産業	
16	2017/5/25	SHIENA　FACTORY	

●NPO センタースタッフスキルアップ支援

「ＮＰＯセンター」「支援センター」と様々な名称で親しまれる市民活動支援センターは、その多くが官設民営、官設官営です。そのため、市民活動に精通したスタッフが少なく、環境団体の課題や悩み等について十分なサポートができないという課題があります。そこで当団体は、地域の環境活動の底上げを図るために、市民活動をサポートするスタッフの学び場づくり、スキルアップ支援を行っています。

第３回　2016 年 6 月 20 日(月)

◆一宮市市民活動センター
◆参加者数：31 人（16 地域より参加）
・あま市市民活動センター
・安城市民交流センター
・岩倉市市民活動支援センター
・ぎふＮＰＯセンター
・岐阜市市民活動交流センター
・郡上市市民協働センター
・多治見市市民活動交流支援センター
・知多市市民活動センター
・津島市役所市民生活部市民協働課
・日進市にぎわい交流館
・名古屋市市民活動推進センター
・東大手の会
・扶桑町住民活動支援センター
・みえきた市民活動センター
・一宮市市民活動センター
・コミュネット江南

第４回　2017 年 2 月 20 日(月)

◆ウインクあいち 1106 会議室にて
◆参加者数：19 人（12 地域より参加）
・あま市市民活動センター
・岩倉市市民活動支援センター
・大府市市民活動センター
・岐阜市市民活動交流センター
・関市市民活動センター
・多治見市市民活動交流支援センター
・つしま夢まちづくりセンター
・日進市にぎわい交流館
・扶桑町住民活動支援センターぷらねっと扶桑
・とういん市民活動センター
・NPO 法人 多度自然育成の会
・コミュネット江南

２．各事業実施報告

１．情報の受発信・交流

1-1　HP、ML、FB による情報受発信

【実施内容】

ホームページ（HP）、メーリングリスト（ML）、Facebook(FB)などの媒体で、当法人および関連団体のイベント情報や助成金情報などを、市民（NPO など）に対して発信しました。

【実施事項】・HP での情報発信…36 回　アクセス数：35,625（平成 29 年 5 月 31 日現在）

・ML での情報発信　（登録者計 636 人）　各 24 件

会員 ML　（登録者数 56 人）

愛知 NPO-ML　（登録者数 293 人）

岐阜 NPO-ML　（登録者数 132 人）

三重 NPO-ML　（登録者数 155 人）

・FB での情報発信…755 件（平成 29 年 5 月 31 日現在）

Facebook ページに対する「いいね！」数 770 件（前年度比 202 件増）

（平成 29 年 5 月 31 日現在）

1-2　情報交流会

【内　　容】「豊かな自然を活かすネットワーク in 揖斐川流域」。2015 年度の経験を踏まえ、地域クラスター構想に基づき、地域のニーズに応えるテーマを設定。共同での企画立案・運営を行いました。

【実施日時】2016年10月9日（日）　～　10月10日（月・祝）

【実施場所】ラーニングアーバー横蔵・樹庵（岐阜県揖斐郡揖斐川町谷汲木曽屋 180）

【主　　催】一般財団法人セブン-イレブン記念財団／NPO 法人地域の未来・志援センター

【共　　催】アースデイいびがわ 2016 実行委員会

【後　　援】岐阜県、岐阜県教育委員会、大垣市、大垣市教育委員会、海津市、海津市教育委員会、養老町、養老町教育委員会、垂井町、垂井町教育委員会、関ヶ原町、関ヶ原町教育委員会神戸町、神戸町教育委員会、安八郡、安八郡教育委員会、輪之内町、輪之内町教育委員会揖斐川町、揖斐川町教育委員会、大野町、大野町教育委員会、池田町、池田町教育委員会環境省中部地方環境事務所

【協　　力】環境省中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部）、なごや環境大学、春日古学び

【実施概要】①交流会

②基調講演

③シンポジウム

④分科会グループワーク

⑤全体会

【参加者数】85 人（目標 100 人）

【参 加 費】一般 11,000 円、会員 9,000 円

【成　果】ネットワーク会員　2組織・26団体の獲得
昨年度の情報交流会開催で見えてきた「地域クラスター構想」を固める第1歩となりました。渥美の環境ネットワーク組織、三重県でゆるやかにつながり始めた団体の参加もあり、互いに学び合い、連携の重要性を地域を超えて確認し合うことができました。

【収　　支】収入：979,000円　助成金、参加費
支出：965,077円　通信費、広報、旅費交通費など

2．コーディネート

2-1　地域の多様なつながりづくり支援

（1）渥美半島環境活動協議会のフォローアップ

2016年10月13日に行われた渥美半島環境活動協議会ミーティング（渥美半島環境活動協議会主催、地域の未来・志援センター協力）により2017年2月19日に協議会初のフォーラム開催が決定。フォーラム当日の運営支援を行いました。協議会の今後の状況を見守り、状況に応じた支援を続けていきます。

【成　果】　渥美半島の環境活動の現状把握進展
↓
真に求められる支援を行うための土台づくり

（2）東海市民社会ネットワークに呼びかけ団体として参画

2016年5月23・24日に開催した「市民の伊勢志摩サミット」をきっかけに愛知・岐阜・三重3県のNPO/NGOがネットワーク組織を発足させ、ＳＤＧｓ地域展開を目指します（発足式：10月23日）。当団体はその呼び掛け団体となり、3県の中間支援組織のつながりづくりに参加。こうしたネットワークが生まれたことにより、地域クラスター構想に基づく環境活動支援の体制を充実させることに活かしていきます。

【成　果】　三重県の中間支援組織と当団体の連携強化
↓
情報交流会2017（三重県北勢地域）、助成金セミナー2017（三重県四日市市）を企画するにあたり、当該地域の状況を把握することができ、地域間でつながりの薄かった団体同士の出会いの場をつくったり、ニーズ等をヒアリングする場をつくることができた。また、当団体だけでは情報を届けられない団体に対して広報できるようになり、多くの多様な団体の参加が見込まれる。

【収　　支】収入：　　0円
支出：105,300円　旅費交通費など

2-2　温暖化対策啓発地域支援

【内　　容】豊橋市温暖化対策室が実施するC0２削減啓発活動の一環として行うクールチョイス運動のキックオフイベントを受託。出力・耐久性とも市販品に引けを取らない太陽光パネルを手づくりできる技術を構築した講師を招き、小学生親子を対象とした「太陽光パネル

手づくりワークショップ」（エネルギー工房）を開催しました。
また、親子イベントに先駆け、地元で再生可能エネルギーへの理解を拡げる人材育成を目的として研修も実施しました。

【実施日時】2016 年 12 月 16 日（金）　～　12 月 18 日（日）
【実施場所】豊橋視聴覚教育センター
【主　　催】豊橋市／企画・運営：地域の未来・志援センター
【協　　力】いるかビレッジ
【対　　象】若い子育て世代（小学生親子：各 15 組約 70 名）

【成果】アンケート結果により、本取り組みが、下記のような「ツール」として有効であることが確認でき、今後、他の自治体で展開する見通しを立てることができました。
1. 子どもから大人まで楽しみながらエネルギーの地産地消への理解を深められる
2. 自治体のクールチョイス活動にのせ、その地域の環境団体と一緒に開催できる

【収　　支】収入：3,017,594 円　業務委託費、参加費
支出：2,956,619 円　講師代、部材実費、旅費交通費など

3．コンサルティング

3-1　相談業務および伴走型支援業務

【内　　容】2016 年度は　随時相談を受け付け、助成金申請、ファシリテーターの仲介、広報支援などを行いました。
【実施事項】・コーディネート相談　2 件
・広報相談　93 件
・事業・企画相談　5 件
・伴走型支援　1 件　（2017 年 5 月 31 日現在）
【収　　支】収入：160,000 円
支出：80,880 円　人件費、旅費交通費など

4．団体・人財育成

4-1　助成金セミナー

（1）本セミナーの開催
【内　　容】「環境市民活動のための助成金セミナー」と題し、多くの環境団体に共通する三大課

題の解決のため、同地域の団体同士が連携し、協働で事業を行うための資金調達方法を、先進事例に学ぶ場づくりを行いました。

【実施日時】2016 年 9 月 11 日（日）14:00～17:30（終了後個別相談）

【実施場所】豊橋市民活動センター オレンジプラザ

【主　　催】一般財団法人セブン-イレブン記念財団／NPO 法人地域の未来・志援センター

【共　　催】豊橋市民センター、田原市民活動支援センター、渥美半島環境活動協議会

【後　　援】愛知県、田原市、田原教育委員会、豊橋市、豊橋市教育委員会、
環境省中部地方環境事務所、渥美半島生態系ネットワーク協議会

【協　　力】なごや環境大学、環境省中部環境パートナーシップオフィス

【実施概要】①基調報告
②助成制度紹介
③座談会
④個別相談

【参加者数】21 人（目標 50 人）

【参 加 費】会員 1,000 円、一般 500 円（資料代）

【成　　果】助成金セミナー参加者の内 6 名が 10 月 9,10 日開催の情報交流会に参加。
「ネットワーク形成につながる市民活動団体間の交流」への賛同者を獲得することにつながりました。

【収　　支】収入：169,338 円　助成金、参加費
支出：159,608 円　通信費、広報、旅費交通費など

(2) 助成金申請ワークショップの開催

【内　　容】主に助成金申請経験の少ない団体や経験のない団体を対象に、地域の中間支援組織と連携し、申請書の書き方を学ぶワークショップを開催しました。

(2)-1 「助成金＆クラウドファンディング申請ワークショップ」

【実施日時】2017 年 1 月 9 日（月・祝）13:00～16:40（終了後 交流会・個別相談）

【実施場所】交流スペース　まちスポ飛騨高山

【主　　催】NPO 法人 まちづくりスポット

【協　　力】NPO 法人 地域の未来・志援センター、飛騨信用組合

【実施概要】①申請書書き方ワーク
②申請事業プレゼンワーク
③投票審査・表彰・振り返り
④クラウドファンディング・助成金紹介
⑤交流会・個別相談

【参加者数】12 人（目標 16 人）

【参 加 費】500 円

(2)-2 「市民活動団体のための助成金申請ワークショップ」

【実施日時】2017 年 2 月 5 日（日）13:30～17:30（終了後 交流会）
【実施場所】日進市にぎわい交流館　2 階　会議室 ABC
【主　　催】日進市にぎわい交流館
【協　　力】NPO 法人 地域の未来・志援センター
【実施概要】①講演「ＮＰＯの資金獲得について」
②申請書書き方ワーク
③申請事業プレゼンワーク
④投票審査・表彰・振り返り
⑤助成金紹介
⑥交流会
【参加者数】15 人（目標 15 人）
【参 加 費】にぎわい交流館登録団体　1,000 円、その他　2,000 円

【成　　果】民間の助成金への申請経験の少ない参加者にとって、申請書の作成はハードルが高いと言われています。こうした層が自らの活動を第三者にわかりやすく伝える力、ひいては仲間づくりや資金調達に欠かせない広報力を強化することが重要との認識を、多くの中間支援組織が述べていますが、地域密着の活動を行う団体にその力をつけてもらう講座がない、というのが実状でした。そのニーズに応えるプログラムを一昨年に作り、今年度、2 か所で開催することによりその有用性が示され、当団体にとって新たなツールを確立することができました。主催団体からは、イベント後に参加者が提出した事業計画書のレベル向上、プレゼン力向上が顕著であるとの報告を受け、高山からは次年度も引き続き事業を依頼されています。また、日進市での評判から他市からの引き合いが来たり、「環境市民活動助成」応募期間の直前に同 WS 開催を希望する声もあがっています。

【収　　支】収入：123,950 円　事業委託費
支出： 69,299 円　講師代、旅費交通費など

4-2　インターン生受入れ≪損保ジャパン CSO ラーニング生≫

【実施内容】大学生 1 人の受け入れを行い、最長 200 時間の有給（800 円/h）および単位認定のインターンシップを実施。中間支援組織としての役割を理解してもらうため、以下の市民活動団体の活動に参加し、その情報の発信を活動の中心としました。

・情報交流会 in 揖斐川流域
・いび地域環境塾
・西濃環境 NPO ネットワーク役員会
・里山ビジネスカフェ
・22 世紀奈佐の浜プロジェクト
・春日百姓体験インターン
・環境ボランティアサークル亀の子隊エコツアー
・助成金セミナー

・豊森なりわい塾・豊森ギャザリング
・NPO 訪問、事務作業　　ほか

【実施期間】2016 年 6 月～2016 年 1 月（8 カ月間）

【成　　果】ラーニング生が、若者の率直な意見が環境市民活動をしている人たちにとって貴重であることに気付き発言することで、ラーニング生、地域で活動する人たち双方に有意義な交流が生まれました。また、地域循環型経済は関係性の経済であることなど、インターン活動全体を通してつながりの大切さを強く感じとってくれたようです。

【収　　支】収入：　97,810 円　協賛金、参加費
支出：　152,370 円　旅費交通費、会場費、謝金

4-3　NPO センタースタッフスキルアップ支援

【内　　容】持続可能な社会の構築を目指し、地域の自治力向上を担う NPO センター・市民活動センタースタッフの相談業務に関するスキルアップ支援と、センタースタッフの日ごろの業務に役立つ情報交換や経験交流を行うため、センタースタッフ交流会を開催しました。

①「第 2 回東海地区市民活動センタースタッフ交流会」

【実施日時】2016 年 6 月 20 日（月）19:00～20:30
【実施場所】一宮市市民活動支援センター
【テ ー マ】『寄り添う』支援って、どんな支援？
【参加者数】22 人
【参 加 費】500 円

②「第 3 回東海地区市民活動センタースタッフ交流会」

【実施日時】2017 年 2 月 20 日（月）19:00～21:00
【実施場所】ウインクあいち　11F　（1106）
【テ ー マ】『相談』のスキルアップについて
【参加者数】15 人
【参 加 費】500 円

【成　　果】アンケートの回答率、講座の満足度共に高く、講師の経験談からヒントを得たり、普段、交流の機会が少ない他センターのスタッフと交流することで、自らの業務を見直すきっかけとなっていることがアンケート結果から伺えます。リピート率が高く、また、毎回新規参加者もあり、準備会から数えて 4 回の開催で本会の存在が浸透してきています。

【収　　支】収入：　66,800 円　参加費、交流会会費
支出：　50,890 円　賃借料、旅費交通費など

５．統一テーマでの活動

5-1　テーマごとの学びの場づくり

【実　施　内　容】情報交流会で浮かび上がってきたテーマ、三大課題に取り組むための、学びの場づくりを後押し。今年度は、その準備のための勉強会を実施します。

【実施日(予定)】2017 年 5 月 23 日（火）

【実施場所(予定)】当団体事務所

【主　　催】NPO 法人 地域の未来・志援センター

【実施概要(予定)】「再認識！活動の充実は事務局機能が肝心」

話題提供：竹内ゆみこ理事長

国際協力団体の日本事務所を長年統括してきた経験から、活動の充実、継続には事務局が欠かせないことを熟知する講師から経験談を聞き、その機能を向上させるための人員配置、仕事分担などについて学び合いました。

【参加者数(予定)】10 人程度

【収　　支】収入：　0 円　　支出：　0 円

６．調査

6-1　NPO 訪問〈環境 NPO ニーズヒアリング〉

【実　施　内　容】中部地域で活動する下記 16 団体の活動現場を訪問し、活動状況や課題をヒアリング

するとともに、その活動状況を当法人 HP「NPO 訪問記」を通じて発信しました。

【ヒアリング先】【　】内は通算番号、(　) 内は訪問日

【44】NPO 法人岐阜・楽しい家づくり研究会（6/3）
【45】NPO 法人まち創り（6/6）
【46】NPO 法人山菜の里いび（6/13）
【47】NPO 法人まちづくりネットワーク池田（6/23）
【48】NPO 法人泉京・垂井（7/4）
【49】NPO 法人里山会（7/21）
【50】ＮＰＯ法人しつもん力普及協会スマイル（8/11）
【51】ＮＰＯ法人Ｗａコミュニティ（8/11）
【52】ＮＰＯ法人森と IT　(8/22)
【53】春日古（いにしえ）学び（9/19）
【54】NPO 法人ぎふいび生活楽校（9/19）
【55】奥三河蚕玉の森プロジェクト（9/20）
【56】山造り研究所（12/5）
【57】環境教育ネクストステップ（4/20）
【58】東産業（4/27）

NPO 法人山菜の里いび

NPO 法人泉京・垂井

【59】SHIENA　FACTORY（5/25）

【収　　支】収入：　　0 円
支出：　17,100 円　旅費交通費、会議費など
※西濃への訪問は、情報交流会打合せとかねて移動

７．政策提言

7-1　日本版「首長誓約」による地域気候エネルギー政策確立支援事業

【実施内容】地球環境基金の助成を受けて、名古屋大学大学院環境学研究科と連携し、次の活動を行いました。

・手法の開発（「持続可能なエネルギー行動計画」を策定するための支援ツール改良）。
・首長同士のネットワークづくり、自治体職員の政策能力向上のためのネットワークづくり。
・日本版「首長誓約」の Web による情報発信。
・EU「市長誓約」との連携。
・誓約自治体のフォローアップ（シンポジウム開催支援など）。

平成 28 年 8 月 10 日に長野県高山村が日本版「首長誓約」を誓約。平成 28 年 8 月 10 日には誓約式が行われました。

【成　　果】3 年間の取り組みを通し、以下のことを実現しました。

1. 地方自治体の『エネルギーアクションプラン』の策定実現
   ＊西三河 5 市（岡崎市、豊田市、安城市、知立市、みよし市）
2. 西三河首長誓約推進協議会発足
3. 名古屋大学が、欧州委員会（EC）より以下事業を受託
   ＊プロジェクト名
   「国際都市協力：持続的・革新的な都市と地域－日本」
   目的：持続可能な都市発展及び地域の気候変動対策に関する EU・日本の都市間の協力強化
4. 中部地域における再エネ率の高い地域新電力設立の種まき

【収　　支】収入：　4,940,509 円　地球環境基金助成金、業務受託金
支出：　4,836,878 円　外部委託費（手法開発、Web 運営費等）
ネットワーク形成費用（旅費交通費、説明会場費、資料印刷費等
プロジェクトスタッフ人件費等）

８．地域デザイン実証

8-1　豊森プロジェクト

【実施内容】第６期「豊森なりわい塾」を 30 人の受講生を対象に実施。豊田市中山間地をフィールドに、地元学や聞き書きなど集落の住民の協力を得ながら、毎月土・日 2 日間の講座カリキュラムを実施した。他に、一期生から六期生を対象にした「卒塾生ギャザリング」を開催(平成 28 年 11 月)。66 人が集まって情報交流を行いました。

また、今期で丸 8 年が経過し、改めて『豊森なりわい塾』の意義はなんだったのかを振り返る冊子を作成しました。これまでに入塾した塾生は 160 名を超え、自らの価値観を見直し、生き方を変えていく卒塾生も多く現れ始めています。リーマンショック後のこの 8 年間、東日本大震災という大きな出来事もありました。本冊子は、それら時代背景と 8 年間の活動の成果、そして今後の展望に焦点を当てる座談会記事と、卒塾生のその後を取材する内容となっています。

【実施期日】5 月から 3 月まで毎月 1 回、第三土日の 2 日間の講座を実施。

【収　　支】収入：　20,756,200 円　トヨタ自動車より受託金、講座参加費収入など

支出：　18,788,718 円　プロジェクトスタッフ人件費、外注費、旅費交通費、通信費など

３．総会および理事会・運営会議の開催

1　2016 年度総会

【実施日時】2015 年 8 月 6 日（日）15:00～16:30

【実施場所】日本陶磁器センタービル４F　多目的ホール

【審議事項】第 1 号議案　①2015 年度事業報告について
②2015 年度収支決算について
第 2 号議案　定款変更について
第 3 号議案　役員の選任について
第 4 号議案　①2016 年度事業計画について
②2016 年度収支予算について

2　2016 年度理事会

第 77 回定例理事会

【実 施 日】2016 年 6 月 2 日

【実施場所】地域の未来・志援センター　事務所

【出席者数】5 人

【内　　容】第 12 回通常総会提出議案の承認
助成金セミナー企画の検討
理事の選任について　新理事として辻久好を選任、承認された
渥美半島環境活動協議会への参加の承認

第 78 回定例理事会

【実 施 日】2016 年 9 月 21 日

【実施場所】地域の未来・志援センター　事務所

【出席者数】6 人

【内　　容】情報交流会について
助成金申請ワークショップについて
豊橋市クールチョイスキックオフイベント『エネルギー工房』について

第 79 回定例理事会

【実 施 日】2016 年 12 月 1 日

【実施場所】地域の未来・志援センター　事務所

【出席者数】7 人

【内　　容】セブン-イレブン記念財団中間支援組織合同会議 発表内容について

第 80 回定例理事会

【実 施 日】2017 年 4 月 5 日

【実施場所】地域の未来・志援センター　事務所

【出席者数】6 人

【内　　容】セブン-イレブン記念財団 2017 年度助成申請について

助成金セミナーについて
情報交流会について

3　2016年度運営会議

第14回運営会議

【実 施 日】2016年6月16日
【実施場所】地域の未来・志援センター　事務所
【内　　容】事業計画書修正について
事務局体制について

第15回運営会議

【実 施 日】2016年7月5日
【実施場所】地域の未来・志援センター　事務所
【内　　容】事業計画書修正について
事務局体制について
2016年度事業軸足について【再確認】
豊橋市COOL CHOICE事業について

第16回運営会議

【実 施 日】2016年8月23日
【実施場所】地域の未来・志援センター　事務所
【内　　容】助成金セミナーについて
情報交流会in揖斐川流域について
来年度に向けた新規事業開拓ついて

第17回運営会議

【実 施 日】2016年10月31日
【実施場所】地域の未来・志援センター　事務所
【内　　容】情報交流会 in 揖斐川流域 振り返り
来年度情報交流会 三重県北勢地域開催について
NPO訪問先について
セブンーイレブン記念財団合同会議について
助成金ワークショップ日程について
日本版「首長誓約」事業の状況、今後について
豊橋市クールチョイスキックオフイベント『エネルギー工房』について

第18回運営会議

【実 施 日】2016年12月21日
【実施場所】地域の未来・志援センター　事務所
【内　　容】情報交流会 in 揖斐川流域 振り返り
来年度情報交流会 三重県北勢地域開催について

第 19 回運営会議

【実 施 日】2017 年 1 月 31 日

【実施場所】地域の未来・志援センター　事務所

【内　　容】情報交流会について

助成金セミナーについて

第 20 回運営会議

【実 施 日】2017 年 2 月 28 日

【実施場所】地域の未来・志援センター　事務所

【内　　容】情報交流会について

助成金セミナーについて

来年度 地域の多様なつながりづくり支援とテーマごとの学びの場づくりついて

来年度 インターン生受入について

第 21 回運営会議

【実 施 日】2017 年 5 月 23 日

【実施場所】地域の未来・志援センター　事務所

【内　　容】事業計画書修正について

2017 年度助成申請について

総会について

情報交流会について

４．各事業の目標値と実績比較

事業	計画時の目標値と実績	
	計画・目標	実績
地域資源情報の発信	会員などからの情報発信依頼：48 件/年 メール配信先 550 件 FB いいね数：650	会員などからの情報発信依頼：36 件/年 メール配信先 636 件 HP アクセス件数：35,625 件（2017/5/31 現在） FB いいね数：770（2017/5/31）
情報交流会の開催	参加者数 100 人 会員・会員団体獲得：10 団体	参加者数 85 人 会員・会員団体獲得：2 組織 26 団体
地域の多様なつながりづくり支援	統一テーマでの活動を支える仕組みづくり	渥美半島での環境ネットワークの現状把握→支援の土台作り
相談業務・伴走型支援業務	相談件数：36 件	相談件数 8 件
助成金セミナーの開催	セミナー参加者数　50 人	セミナー参加者数　21 人
環境 NPO ヒアリング調査事業	年間 20 件の訪問ヒアリング 会員 5 人（団体）の獲得	16 団体に訪問ヒアリング 新規の情報交流会協力者 3 団体を獲得

特定非営利活動法人地域の未来・志援センター

2016 年度事業報告

以上

発行　2017 年 7 月

特定非営利活動法人 地域の未来・志援センター

〒461-0002 愛知県名古屋市東区代官町 39-18 日本陶磁器センタービル 5-D
中部リサイクル運動市民の会内
TEL : 052-936-3213 FAX : 052-982-9089
E-mail : office@c-mirai.org
URL.:http://www.c-mirai.org/